

■米国：米国初の系統用電力貯蔵装置がニューヨークで運開

米国大手独立系発電事業者（IPP）の AES 社の子会社で電力貯蔵プロジェクトを手掛けている AES Power Storage 社は 2011 年 1 月 6 日、ニューヨーク州ジョンソン市で米国初となる電力貯蔵装置の商用運転を開始した。稼動した 8,000kW の電力貯蔵装置はリチウムイオンバッテリーを使用しており、ニューヨーク独立系統運用者（NYISO）により周波数調整、予備力調達、需給バランスの維持に用いられる。同設備では周波数調整用として独自のアルゴリズムを使用しており、NYISO の指令により 1 秒以内に放電が可能とされていることから、同地域での供給信頼度の向上が見込まれている。なお、同施設の建設費用の 80%（1,710 万ドル）に対して連邦債務保証制度が適用され、2011 年後半に更に 12,000kW の貯蔵装置を稼動させるとしている。